㋐　大気の構造

大気の組成，太陽放射と地球放射の性質を理解するとともに，大気に関する観測資料などに基づいて，各圏の特徴と地球全体の熱収支など大気の構造を理解すること。

㋑　大気の運動と気象

大循環と対流による現象及び日本や世界の気象の特徴を理解すること。

(ｲ)　海洋と海水の運動

㋐　海洋の構造

海水の組成を理解するとともに，海洋に関する観測資料などに基づいて，水温と塩分の分布との関係など海洋の構造を理解すること。

㋑　海水の運動

海水の運動と循環及び海洋と大気の相互作用について理解すること。

イ　地球の大気と海洋について，観察，実験などを通して探究し，地球の大気と海洋の構造や運動の規則性や関係性を見いだして表現すること。

(4)　宇宙の構造

宇宙に関する事物・現象についての観察，実験などを通して，次の事項を身に付けることができよう指導する。

ア　宇宙に関する事物・現象について，次のことを理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付けること。

(ｱ)　太陽系

㋐　地球の自転と公転

地球の自転と公転に関する観察，実験などを行い，地球の自転と公転の証拠となる現象を理解すること。

㋑　太陽系天体とその運動

太陽系天体に関する観測資料などに基づいて，太陽系天体の特徴を理解するとともに，惑星の運動の規則性を見いだし，視運動と関連付けて理解すること。

㋒　太陽の活動

太陽に関する観察，実験などを行い，太陽表面の現象を太陽の活動と関連付けて理解すること。

(ｲ)　恒星と銀河系

㋐　恒星の性質と進化

恒星に関する観察，実験などを行い，恒星の性質と進化の特徴を

見いだして理解すること。

㋑　銀河系の構造

銀河系に関する観測資料などに基づいて，銀河系の構成天体とその分布について理解すること。

(ｳ)　銀河と宇宙

㋐　様々な銀河

銀河についての観測資料などに基づいて，様々な銀河の存在と銀河の分布の特徴を理解すること。

㋑　膨張する宇宙

宇宙の誕生や進化について調べ，現代の宇宙像の概要を理解すること。

イ　宇宙に関する事物・現象について，観察，実験などを通して探究し，天体の運動や宇宙の構造を見いだして表現すること。

3　内容の取扱い

(1)　内容の取扱いに当たっては，次の事項に配慮するものとする。

ア　内容の(1)から(4)までについては，「地学基礎」との関係を考慮しながら，それぞれのアに示す知識及び技能とイに示す思考力，判断力，表現力等とを相互に関連させながら，この科目の学習を通して，科学的に探究するために必要な資質・能力の育成を目指すこと。

イ　この科目で育成を目指す資質・能力を育むため，「地学基礎」の３の(1)のイと同様に取り扱うとともに，この科目の学習を通して，探究の全ての学習過程を経験できるようにすること。

(2)　内容の範囲や程度については，次の事項に配慮するものとする。

ア　内容の(1)のアの(ｱ)の㋐については，ジオイドと重力異常にも触れること。㋑については，地磁気の三要素及び磁気圏と太陽風との関連を扱うこと。また，地磁気の原因と古地磁気にも触れること。

(ｲ)の㋐については，走時曲線を扱い，地震波トモグラフィーにも触れること。㋑については，アイソスタシーも扱うこと。また，放射性同位体の崩壊など地球内部の熱源にも触れること。

イ　内容の(2)のアの(ｱ)の㋐については，マントル内のプルームも扱うこと。㋑の「地震活動の特徴」については，地震災害にも触れること。「地殻変動」については，活断層と地形との関係にも触れること。㋒の「火成活動の特徴」については，火山災害にも触れること。㋓については，造山帯の特徴を安定地塊と対比させて扱うこと。

(ｲ)の㋐については，段丘，陸上及び海底の堆積物も扱うこと。「地形